



掖濟(えきさい)の心で、社会に貢献
「掖濟」は、腋に手を添えて助けるの意味。

小樽掖濟会病院広報誌

かなる Canal

vol.17
2023
January

Canalは英語で運河という意味



冬の小樽観光案内所

小樽掖濟会病院の基本理念

優しさと責任

患者さんに優しく接し
責任を持って診療に当たります

◆ 目次

- 2・3 病院長のひとり言
- 4・5 診断用X線装置とX線CT診断装置を更新しました
- 6 病院給食をご紹介します
- 7 『患者さんからの声』の紹介
- 裏表紙 Topics 消防訓練について

TAKE FREE(無料) ご自由にお持ちください。



病院長のひとり言

～ 令和5年(2023年)年の初めに思うこと ～

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

小樽掖済会病院は1944年に小樽市に開設され79年間、一貫して小樽後志地域の皆様と共に歩み続けてまいりました。優しく、力強く、高いレベルの医療と看護を患者さんやご家族の皆さんに提供し、その気持ちを「優しさと責任」の言葉に変えて病院理念として掲げているとおりです。今年も更なる向上を目指して小樽掖済会病院職員一同努めて参りますので、皆様のより一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和5年は十干でいう癸(みずのと)と十二支でいう卯(う)にあたり、陰陽五行説では、癸(みずのと)が雨や露、霧など、静かで温かい大地を潤す恵みの水を表し、卯(う)は穏やかなうさぎの様子から安全、温和の意味があるそうです。

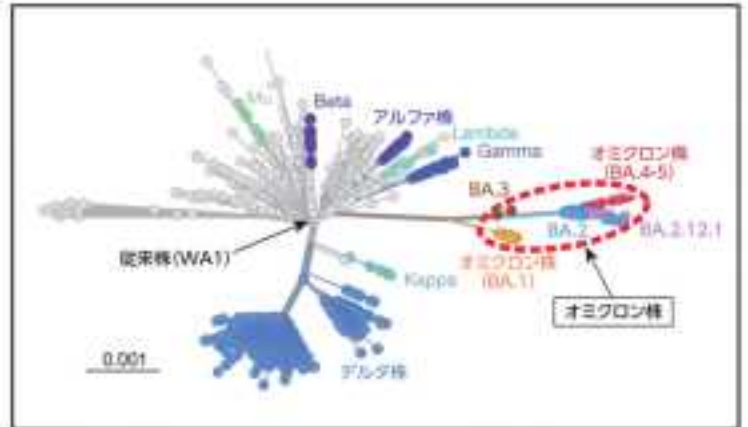
この3年間は新型コロナに振り回され、昨年にはロシアのウクライナ侵攻など、平穏や安寧とは無縁な状況が続いていますが、そうしてみると、癸卯(みずのと)にあたる2023年は何だか良い年になるような気がしませんか？

推定3歳9ヶ月の凜のツンデレな性格はもちろんの事なのですが、私の座椅子を無言で横取り、さすが体重5kgとも思える「座る姿も社長の貫禄」を見せつけてます。最近では、将棋の藤井聡太竜王のファンらしく、時々テレビに齧り付くように最前列で熱心に観戦してます。前号では冷蔵庫を開けようとよじ登る姿を見せるなど、わが家の序列1位を確保して、すっかり人間になったつもりで毎日を楽しんでいます。



新型コロナ感染症については毎回の病院広報誌で「今が勝負の時」、「ここを乗り越えれば」、「止まない雨はない」などと言いつけてきました。どうやらウイルスが自らの生存のため毒性を弱め、感染力を強めて頻回に変異を繰り返しており、季節的に流行を繰り返すインフルエンザや一般的な風邪ウイルス、子供が感染することが多いアデノウイルスやRSウイルスと同じように人間社会に広く溶け込んで行くのだろうと思っております。

〈新型コロナウイルスの変異株の枝分かれ(系統樹)〉

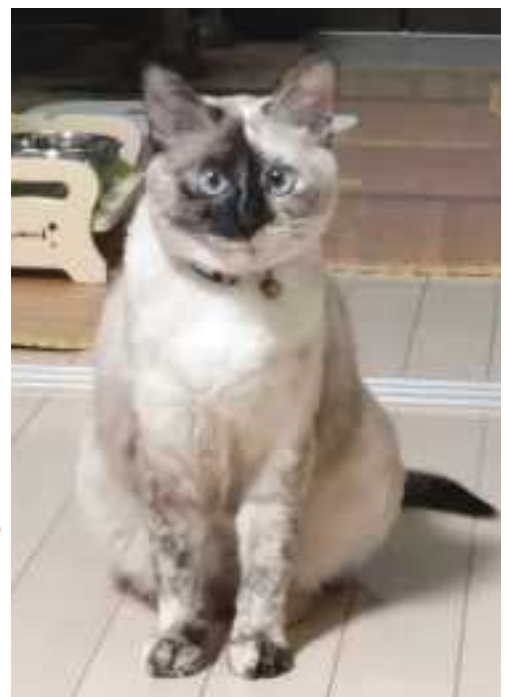


〔※〕出典をもとに改定。
出典：Wang, Q., Guo, Y., Ketani, S. et al. Antibody evasion by SARS-CoV-2 Omicron subvariants BA.2.12.1, BA.4 and BA.5. Nature 606, 603-608 (2022).

行政、専門家機関で検討が繰り返されておりますので、いずれ「2類から5類感染症に変更」あるいは「2類相当感染症」という新分類に区分される日も来るのでしょうか。しかしながら、新年を迎えた現在はまだ2類です。私たち医療従事者が感染してしまうと、診療行為あるいは看護活動を継続することができなくなり、医療の崩壊に直結してしまいますので、今しばらくの間、入館時体温測定および不織布マスク着用、面会制限、外出外泊制限、病室内での黙食励行などなど、小樽掖済会病院として現状の感染対策を緩める事は出来ませんので、皆さまのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

3年間近くに及ぶ何らかの行動規制や自粛生活を経て、再び日本経済を回しはじめたため、かなり感染も増加しましたが、多くの観光客が小樽に戻り活気が出てきたように思います。

ネズミの意地悪で干支(えと)から外されてしまったという猫を代表してわが家の凛(リン)が、『癸卯(みずのとう)の年が静かで平穏な良い年になることを祈っております』を『ニャ〜ン』の一言に込めて言っていました。



放射線部よりお知らせ

診断用X線装置とX線CT診断装置を 更新しました

診断用X線装置 「DR BENE0-Fx/eX」

一般撮影はX線を使った検査で、病気や怪我の診断の第一段階として用いられることが多い検査です。撮影する部位は胸部や腹部、全身の骨など、診療科によって様々です。

この度、2つの撮影室の装置を更新致しました。FPD（フラットパネルディテクタ）と呼ばれる検出器により、少ないX線量で高画質な画像が得られます。（被ばく低減）

画像確認にかかる時間が短縮され、患者さんの待ち時間が短くなることが期待されます。



第1撮影室 (DR BENE0-eX)



第2撮影室 (DR BENE0-Fx)

X線CT診断装置 「Aquilion Precision」(道内2番目の導入施設)



このCT装置は世界最薄の0.25mmスライスでの撮影を可能とし、従来の2倍の解像度を実現した最新のCT装置です。判別が難しかった病変や血管構造を明瞭にし、新たな病変の発見に威力を発揮致します。さらに術前検査や検査後の治療計画、経過観察に至るまで幅広く利用できます。人工知能を用いた最新技術『AiCE』を搭載し、最新の「低被ばく技術」により安全面にも配慮した装置です。

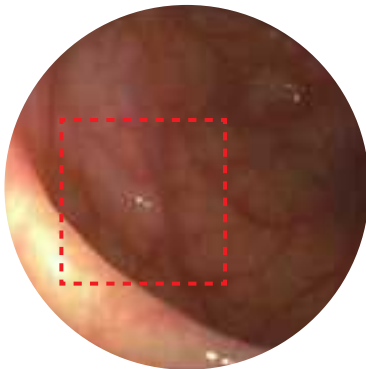
高精細CT「Aquilion Precision」の ご紹介

当院で新たに導入したCT装置は高精細CTと呼ばれ、従来の装置に比べ高精細な画像を取得することが可能です。より「細かく」表現でき、今まで見分けることが出来なかった部分を表現することが可能となりました。さらには、従来のCT装置より放射線被ばくを「3割」ほど低減させることが可能になりました。

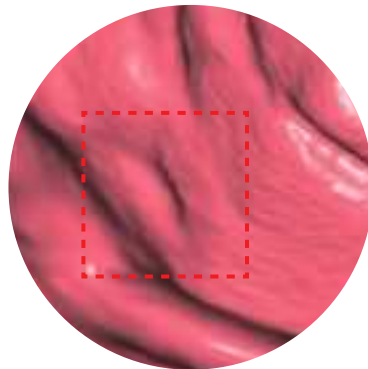
大腸CT検査

CT撮影を行い、専用ソフトを使用することで内視鏡を挿入しなくても内視鏡検査を行なったような大腸の画像を作成し観察・診断することができます。

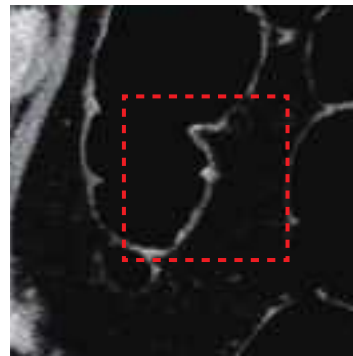
こんなに小さな病変まで見つけることが出来るようになりました。



内視鏡画像



CT画像を元に作成した仮想内視鏡画像



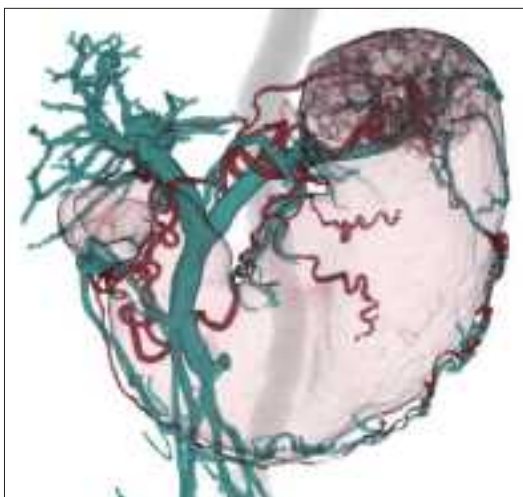
CT画像



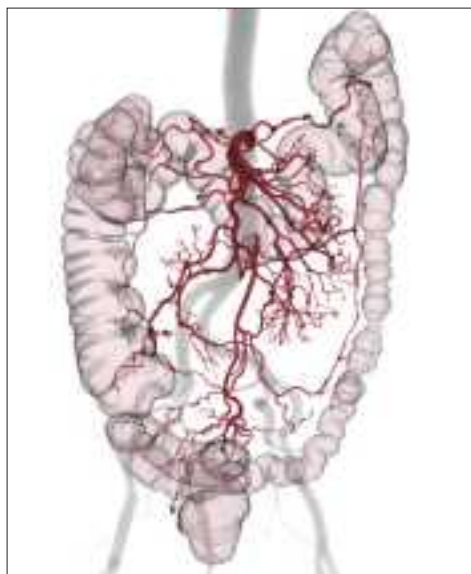
術前支援画像

手術を安全に行うための手術計画や手術のシュミレーション(イメージ)をサポートするための画像です。主に3次元の画像を作成し、それをいろいろな角度で回転してシュミレーションをしていきます。

より先の血管まで詳細に描出可能に！皆様に安全な手術を提供いたします。



胃術前支援画像



大腸術前支援画像





病院給食をご紹介します



当院の給食では郷土料理や季節の果物、珍しい野菜の提供など、入院中の患者さんに楽しんでもらえるような食事作りに取り組んでいます。ちょっとした豆知識や栄養に関する情報などをアンケート用紙として配布し、患者さんから感想やご意見をいただいています。昨年実施した献立の中から、患者さんに好評だったものを一部ご紹介いたします。

●11月11日実施 珍しい野菜「うまい菜」



患者さんより

- ・これなら鍋に入れてもいいですね。栄養価もほうれん草と同じように鉄分が多いのでしょうか？
- ・病院の食事ですべて初めてこの野菜を知りました。ゆで方も100点、お味も上々。

●8月29日実施 沖縄県の郷土料理「タコライス」「人参しりしり」



患者さんより

- ・とてもおいしかったです。家に帰ったら作ってみます。
- ・郷土料理シリーズ何度か当たっています。いつも楽しみにしています。

●6月24日実施 山口県の郷土料理「けんちょう」「ちしゃなます」



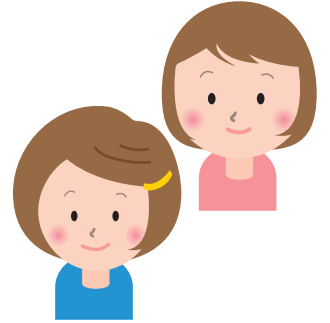
患者さんより

- ・レタスを酢みそとは思いつかない組み合わせです。おいしくいただきました。
- ・自分はあまり酢の物が好きではありません。しかしこのちしゃなますはサラダ感覚で食べることができました。酢みそドレッシングおいしかったです。

「患者さんからの声」の紹介



当院では患者さんからのご意見やご要望をお聴きし、病院の設備改善や職員意識の改革を図ることを目的に“みなさまの声”投書箱を入院病棟や外来に設置しております。今回は投書されたご意見、お褒めの言葉とその返答の一部を紹介致します。



【ご意見・ご要望】

◇テレビや冷蔵庫の利用料金や利用方法はどのようになっていますか◇

多くの医療機関で採用されているカードシステムを当院でも採用しています。料金設定に関しても他の公的病院の料金を参考にして設定しています。

◇食事の際のお茶サービスはないのでしょうか◇

病棟デイルームに給茶機を設置し、水・煎茶・ほうじ茶（各種温冷あり）を用意しています。定時の配茶サービスは行っておりませんので、ご希望の際は病棟スタッフにお声がけください。

◇家のご飯より病院のご飯は少し軟らかく感じましたが◇

一般的な家庭でご飯を炊くときの水分量は米量に対して1.2倍にすることが多いですが、当院では1.6倍となっているので、一般のご家庭より軟らかめに炊いています。

【お褒めの言葉】

大変お世話頂いており何とお礼申し上げてよいのやら、本当に有難うございます。本当に心よりの手厚い看護もさることながら心暖まるお見立ても何とお礼申し上げて良いのやら判断に苦しむばかりであります。当院の皆様も永遠に親切で、永遠に心優しい、心の置処であって頂きたいと思えます。

私たち看護師は、患者さんに寄り添い、心身の回復へのお手伝いをしたいと願っております。このようなお手紙やお言葉を頂きますと、たいへん励みになります。今後も全職員一丸となって、より良い医療看護を提供できる様に研鑽して参ります。

投書されたご意見、ご要望とその返信は、1階電話コーナー横に掲載されています。今後もお気づきの点がございましたら、“みなさまの声”の投書をお願いいたします。

Topics

消防・避難訓練を実施しました!

昨年11月17日に火災を想定した、消防・避難訓練を実施しました。実際に消火栓の非常ボタンを作動させたりと緊張感のある訓練を実施することが出来ました。訓練を継続して行い防災の意識を維持・向上に努め、不測の事態に備えてまいります。



小樽掖済会病院 認定施設一覧

- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本カプセル内視鏡学会指導施設
- ・日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- ・日本麻酔科学会認定病院
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- ・日本栄養療法推進協議会認定 NST 稼働施設

施設概要

開設年月日 昭和19年4月1日

管理者 向谷 充宏

病床数 138床

構造規模 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上7階

駐車場 敷地内駐車場48台(福祉車両専用含む)

アクセス

所在地 〒047-0032
北海道小樽市稲穂1丁目4番1号

TEL 0134-24-0325

FAX 0134-24-0326

交通機関 JR小樽駅より徒歩5分
中央バス各線バス停まで徒歩3分

診療科科目

- ・内科
- ・消化器内科
- ・胃腸内科
- ・肝臓内科
- ・外科
- ・消化器外科
- ・乳腺外科
- ・肛門外科
- ・麻酔科
- ・整形外科(休診中)



★札幌よりJR利用快速列車約30分でJR小樽駅着



日本医療機能評価機構
認定第 JC2292 号

